

施設名	(学) 勝田学園 大成幼稚園	電話	048-663-2892
住所	さいたま市大宮区大成町2-182		

事例 1	タイトル	魔法の種の正体は・・・(かぼちゃの収穫)・かぼちゃきんちゃくを食べよう	
目指す姿 (大きな目標)	かぼちゃの育ちを実際に目にし、手で触れ、収穫することを喜ぶ みんなで一緒にかぼちゃを味わう		
当日のねらい (小さな目標)	かぼちゃの収穫を喜び、みんなで味わう		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・ <u>5歳児</u> ・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	<u>幼稚園教諭</u> ・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	2019年 10月12日(月)	
	場所	大成幼稚園 年長5歳児たけぐみ・ゆりぐみ 保育室	
	資料・教材		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ① カボチャの育ちを観察する ② 収穫する。③収穫したカボチャをの絵を描いたり、触れて観察する。 ③ どのように料理して食べたいか話し合う ④ 話し合って決めた「かぼちゃきんちゃく」を自分たちで形作る⑤みんなで食べる 		
結果・参加者の反応や様子	<p>コロナ禍で4・5月休園となり、オンラインで子どもたちとコミュニケーションをとった。毎年5月には子どもたちと育てたい野菜を決め、苗植え体験をしていたが、今年度はそれができず、オンラインを通して保育者が「秘密の魔法の種」を植えた。6月になり登園できるようになったころから双葉が育ち、夏に向けて大きく育ち始め、子どもたちも「魔法の種が大きくなっている」と興味深々で育ちを観察した。過去の経験から、葉っぱの形がトマトに似ていると、「トマトじゃない？」黄色の花がつくと「きゅうりかな」と答えが分からないことにワクワクし、想像をめぐらせた。花の下にまるい実をつけると、「かぼちゃだ」と気づき始め、収穫を楽しみにした。収穫では、チクチクするツルを力を合わせて引っ張った。思いのほかいろんな方向にツルが延びており、畑のブロック塀の裏からも実がゴロンと出てきて驚きを隠せない様子であった。収穫後は数日観察し、絵を描いたりしたのち、カボチャ巾着にして食したところ、普段はかぼちゃを食べない、食べたことがないと言う子も挑戦してみるなど「みんなと一緒にたべてみよう」「苦手だと思っていたけど食べてみたら食べられた」という経験にもつながった。</p>		
評価・今後の課題	かぼちゃの実が大きくなっていくにつれ、収穫に期待を膨らませた。収穫から食べるまでの期間によく観察し、触れたり描いたりする時間を設けたことで、より自分たちが育てた野菜への愛着が湧いた。食事の材料にかぼちゃが含まれている事によく気付くようになった。また、どのような料理があるのか日頃の経験から思い出していた。コロナ禍で、子どもが調理に携わる場面で配慮や制限が必要だった。少しでも自分たちで行ったという経験が出来るように工夫が必要である。	備考	<p>今年度はコロナ禍ということもあり、園での食育への活動を試みるため、最善の配慮をして実行しました。</p> <p>また事前アレルギー調査も必須である。</p>



がんばれー！
ひっばれ！



でこぼこ。。
黄色っぽいところあるね



なんこある？
カボチャタワー！

おいしそう！

あま～いね！



施設名	浦和すみれ幼稚園	電話	048-767-3922
住所	埼玉県さいたま市桜区南元宿2-24-1		

事例 2	タイトル	食育マット	
目指す姿 (大きな目標)	3色食品群を理解し、好き嫌いをせず食べるようバ掛ける		
当日のねらい (小さな目標)	食べ物の名前、何を食るとどのようなかになるのかを知り、グループ分けを楽しんで行い、食への興味を持つ		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和2年11月4日(1組)、5日(3組)、6日(2組)	
	場所	各保育室	
	資料・教材	食育マット えいよう3兄弟	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達に3色食品群とはどのようなものか伝える。 ・パーツを見せ何の食べ物が問いかけながらグループに分けていく。 ・1人1つのパーツを持ち自分で考えてグループに分ける。 ・給食には3つのグループの食べ物が入っていてバランスが良いことを伝え食べる意欲に繋げる。実際に今日の給食を見て問いかける。 		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・見やすい食べ物のパーツや栄養3兄弟の顔を見せることで子ども達の興味を引きつけることができ、何を食るとどのようなかになるのか伝えることができた。 ・初めにパーツを3色食品群のグループに分けて見せながら伝えたことで、皆で楽しんでパーツを貼り、分類できた。 ・グループの中の食べ物を全部食べられるとバイ菌に負けない強い体になることを理解できた。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・バランス良く食べないと健康で丈夫な体になれないと知り、「これは○○グループだね」と言て一口食べようとしたり、完食しようとしたりする姿が見られ、食べる意欲が高まった。 ・個々に園での様子を伝え家庭でも食への興味が育つよう保護者と連携していく。 	備考	

施設名	むさし幼稚園	電話	048-861-6009
住所	さいたま市南区文蔵3-11-6		

事例 3	タイトル	焼き芋会	
目指す姿 (大きな目標)	旬の食材を使い、おいしく食べる		
当日のねらい (小さな目標)	たき火で焼き芋をつくり、普段とは違う味わい方を知る		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・ <u>2歳児</u> ・ <u>3歳児</u> ・ <u>4歳児</u> ・ <u>5歳児</u> ・保護者・その他(満3歳児)	
	実施者 (○で囲む)	<u>幼稚園教諭</u> ・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和2年11月20日(金)	
	場所	幼稚園園庭	
	資料・教材	さつまいも、コンクリートブロック、枯草、小枝 アルミホイル、新聞紙	
実施内容	朝、登園したら、前日に洗ったさつまいもを新聞とアルミホイルでまく。 たき火で置き火をつくり、その中にさつまいもを入れる 40~80分で焼き上がった芋を出してもらい、自分で開けて食べる		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> 「焼き芋」を食べたことがある参加者は多くいたが、直接火を使い焼いたものを食べた子はほとんどいなかった。買ったものや、ふかしたものと比べると、柔らかくて、甘みがあると好評だった。 家では食べない(嫌い)だった子もたけりと一緒に食べた。勇気を出して食べると「おいしい」と残さず食べていた。 火の近くに行くことで火災のことも学ぶことができていた。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 毎年のごとだが、今日しかたき火をする機会がほい子がほとんどで火の熱さを感じていた。 近隣の方には迷惑をかけたほか、できる限り続けていきたい。 旬の食材を味わう大切を知らせていく。 		備考

施設名	明日香保育園	電話	048-622-5586
住所	さいたま市西区植田谷本316		

事例 4	タイトル	自分達で育てた野菜を食べよう！	
目指す姿 (大きな目標)	普段食べている野菜の生長過程に興味を持つ。		
当日のねらい (小さな目標)	収穫した野菜の匂いや形を知り、料理になるまでの過程を学ぶ。		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和2年5月～9月	
	場所	保育室、畑	
	資料・教材	特になし	
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・畑に大根の種を蒔く。 ・水やり、草取りなど世話をしながら、大根が成長する様子を観察する。 ・大根を収穫する。 ・調理師から、収穫した大根をどのように調理するのか話を聞く。調理師が大根を切るところを見る。 ・調理された大根を給食で食べる。(揚げ大根のあんかけ) 	
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな大根が多かったが、大量に収穫することができた。 ・大根を目の前で調理してもらい、切った時の匂いや重さなど料理になる前の姿を知ることができた。 ・調理する様子を真剣に見ていた。 ・大根は少し苦かったところもあったが、自分達で育てた野菜ということもあり喜んで完食していた。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・大根の種を蒔く時に、蒔き方を間違えていた。正しく蒔いていたら、もう少し大きい大根が多く収穫できていたのではないかと感じる。 ・今回は切るところを実際に見られた。次回は、自分達で調理をする、火を使った調理しているところを見学するなど計画していきたい。 ・自分達で育てたので、野菜の生長の仕方など楽しみながら参加できた。今後も、参加型の食育活動を計画していきたい。 	備考	

<資料>



みんなでお世話をした大根、
たくさんできたよ～！



どうやって
作るのかな～？

大根を切っていくよ。
よーく見ててね！

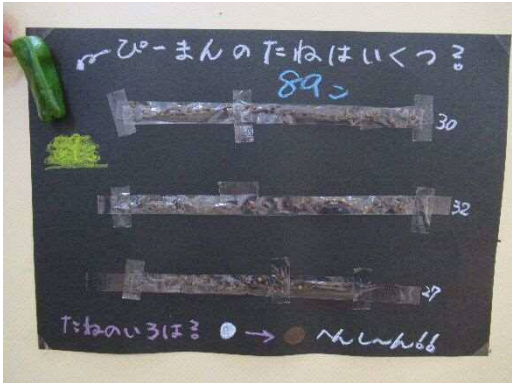


みんなでお収穫した大根が、
「大根のあんかけ」に変身！


ちょっぴり苦いけど、
おいしいね！



施設名	まみ保育園	電話	048-623-0330
住所	さいたま市西区内野本郷 383-8		

事例 5	タイトル	にこにこ畑で野菜を育てよう	
目指す姿 (大きな目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・夏野菜に興味を持ち、生長や収穫への期待をもつ。 ・収穫を喜び、食への関心を深める。 		
当日のねらい (小さな目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、世話をすることで生長の過程を観察し、発見や驚きをみんなで共有する。 		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・(4歳児)・(5歳児)・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・(保育士)・栄養士・(調理師)・調理員・その他()	
	日時	令和2年4月～9月	
	場所	まみ保育園敷地内にこにこ畑	
	資料・教材	<ul style="list-style-type: none"> ・きゅうり・なす・ピーマン・トマトの苗 ・支柱　・ネット 	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・苗を植え、毎日時間を決めて水やりを行い、生長を観察する。 ・雑草取り　・収穫する ・収穫した野菜を観察したり、数を数え表に記入する。 ・収穫した野菜を食べる。 		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・苗の世話(水やり)をする中で土が濡れているかどうかを見て水の量を判断したり、雨の日が続くと雑草がたくさん生えることに気づく。雑草取りや水やりをすることで不思議に思ったり驚いたりする心や、世話をすることで心が和み優しい表情が見られるようになる。 ・野菜への興味や関心をもち収穫を喜び、数を表に記入することで喜びが増す。 ・ピーマンは種の数を書き、画用紙に貼っているうちに種が酸化し白から茶色に変色してしまうことに気づく。 ・形や大きさ、匂い、感触、重さに気づき、収穫時の力加減の難しさも体験する。 ・子ども達の会話の中で収穫する頃合いを感じている場面があった。 ・自分たちで育てた野菜を食べることで苦手な野菜が食べられるようになり、食べる喜びや楽しさにつながった。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・食への関心を高め、自ら進んで食べようとする気持ちを育てるためには野菜を育てる活動は有効だと思う。栽培活動に取り組むことで子ども達が野菜を育て収穫し食べるという体験を通して保育者や友達と食べる喜びや楽しさを味わうことができた。また、土に触れることで無心になったり虫と触れ合う機会となり良かったと思う。 	備考	

施設名	あおぞら西保育園	電話	048-783-3755
住所	さいたま市西区宮前町 695-2		

事例 6	タイトル	園庭で育てたトマト(凜々子)でトマトカレーを作ろう！	
目指す姿 (大きな目標)	沢山収穫できたトマトで作ったトマトカレーを給食で食べる。		
当日のねらい (小さな目標)	自分たちが育てて収穫したトマトに触れ、給食のトマトカレー作りに関わる。		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・ 5歳児 ・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・ 栄養士 ・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和2年9月17日(木)9時20分～9時35分	
	場所	あおぞら西保育園 1階 子育て支援室	
	資料・教材	園庭で収穫したトマトを冷凍保存しておいたもの、お椀(人数分)	
	実施内容	<ol style="list-style-type: none"> ①身支度を整え、手を洗い、電解水を噴霧した。 ②トマト(凜々子)について説明した。 収穫したトマトの総数が462個になった事を子どもたちと確認した。 ③1人2個ずつお椀の上で水に浸して半解凍したトマトの皮むきをした。 ④残ったトマトは職員が皮むきを行った。 ⑤皮むきをしたトマトは、給食室で刻み、栄養士が調理した。 ⑥子どもたちの前で栄養士がトマトカレーを盛り付け、給食で頂いた。 	
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちはお椀に入ったトマトを、「つめたい！」「きれい！」「ほうせきみたい！」と、皮むきをしていました。つるつときれいにむけた子ども、なかなかむけなかった子どもがいましたが、指先を上手に使っていました。 ・給食に自分たちでむいたトマトを使ったトマトカレーを提供する事を伝えると、期待感が高まっていました。 ・5歳児クラスでは栄養士がトマトカレーの盛り付けを行った事で、いつもと違う雰囲気を楽しんでいました。カレーの中のトマトを見つけると「トマトあったよ！」と嬉しそうに教えてくれ、できたてのトマトカレーを味わいました。あっという間に完食し、多くの子どもがおかわりをしていました。 		
評価・今後の課題	<p>5月に子どもたちとトマト(凜々子)の苗植えをし、生長していく様子を身近に感じながら栽培をしました。収穫したトマトの皮むきまで行ったことで、達成感を感じ、食べる意欲へと繋がっているようでした。また、収穫の喜びや、より一層トマトの美味しさを感じることができました。</p> <p>今後も食材に触れる取り組みを行い、子どもたちの食への興味を引き出していき、経験を積んでいけるようにしていきたいと思えます。</p>	備 考	

施設名	西大宮青藍保育園	電話	048-729-6726
住所	埼玉県さいたま市西区西大宮 3-25-5		

事例 7	タイトル	食育劇「早寝・早起き・朝ごはん」	
	目指す姿 (大きな目標)	朝食の大切さを知り、健康な生活リズムを身に付ける	
	当日のねらい (小さな目標)	朝食を食べることの大切さを知る 朝食をしっかりと食べるためには早寝早起きをすることが重要だということも理解する	
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・ <u>3歳児</u> ・ <u>4歳児</u> ・ <u>5歳児</u> ・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ <u>保育士</u> ・ <u>栄養士</u> ・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和2年10月22日(木)	
	場所	各保育室	
	資料・教材	早寝早起き朝ご飯に関する劇のシナリオを作成 おままごとセットにて朝ご飯を再現	
	実施内容	保育士2名がそれぞれ「朝食を食べて元気なAちゃん」と「朝食を食べずに元気が出ないBちゃん」を演じ、元気が出ないのはなぜか等の問いかけ・解説を栄養士が行った。 ただ朝食を食べれば良いというわけではなく、朝食を食べるには早寝早起きも大切だという事、より元気な体をつくるには好き嫌いせずにバランスよく食べることが重要であることまで伝えられる内容にした。	
結果・参加者の反応や様子	慣れ親しんでいる担任が園児役を演じたこと、朝食をおままごとセットで再現したことで、どの年齢でもわかりやすく、楽しみながら朝食の大切さを伝えることができた。 また、年長組では普段からその日の給食を三大栄養素ごとに色分けする活動をしているため、「食パンだけの朝ご飯でもいいのかな？あと何色の食べ物を食べればいいのか？」という話までつなげることができた。 子ども達は劇中の問いかけなどに対し、積極的に答える姿が見受けられた。		
評価・今後の課題	10月は朝食月間であることからこの内容を取り入れた。朝食をしっかりと食べることは、子どもの意識に加え、家庭の協力が必要となるので、家庭において今回の活動内容を話題にし、朝食の状況を見直すきっかけづくりになれば良いと思う。今後はこのような活動に加え、食育だより等で簡単に作れるメニューの提案や、その他の情報を提供していくなど、様々な角度からのサポートをしていきたい。	備考	

施設名	本郷保育園	電話	048(652)3440
住所	さいたま市北区本郷町(328-1)		

事例 8	タイトル	いろいろな野菜に興味をもとう	
目指す姿 (大きな目標)	野菜に興味を持ち、女子が嫌いな多く食べる事ができる。		
当日のねらい (小さな目標)	どの野菜が水に浮くのか、沈むのかを知る。野菜を切る時どうなっているのかを知る。		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・ <u>2歳児</u> ・ <u>3歳児</u> ・ <u>4歳児</u> ・ <u>5歳児</u> ・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ <u>保育士</u> ・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和2年 10月 26日 (月)	
	場所	えか見室	
	資料・教材	・やさしいはたし(農文協) ・グリーンマントのピーマンマン(世界文化社)	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 水槽に水を入れ、いろいろな野菜を入れて浮くか沈むかを確かめる どうして浮くのかという理由を説明し、絵本や黒板でどのように野菜が切れるのかを伝える 野菜を切るとどんな色でどんなふうなのかみんなで見ながら確認する 食べ物のクイズをして、食べ物にはいろいろな野菜が使われている事を知る 		
結果・参加者の反応や様子	<p>密を避けるため、4・5歳児と2・3歳児とわけ2回おこなった。内容はクイズを年ごとに違いをのこした。</p> <p>浮くのか沈むのか興味を持ち観察できていた。</p> <p>野菜は女子が嫌いなが多いため、食べる意欲にフタが「これは」と考え、計画した。いたたまずの前には今日はどんな野菜があるか話をする。この間の、みんなのよとわと言う子が着た人として興味を持つ事ができたようだ。</p>		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 今後いろいろなテーマで食育集会ができればよいと感じた。 30分の予定だったが、もう少し短い時間でもいいのではと思った。 いろいろな事を体験できるとより深く知る事ができるのではと思った。 	備考	

施設名	大宮つばみ保育園	電話	048-668-5203
住所	北区土呂町2-9-19		

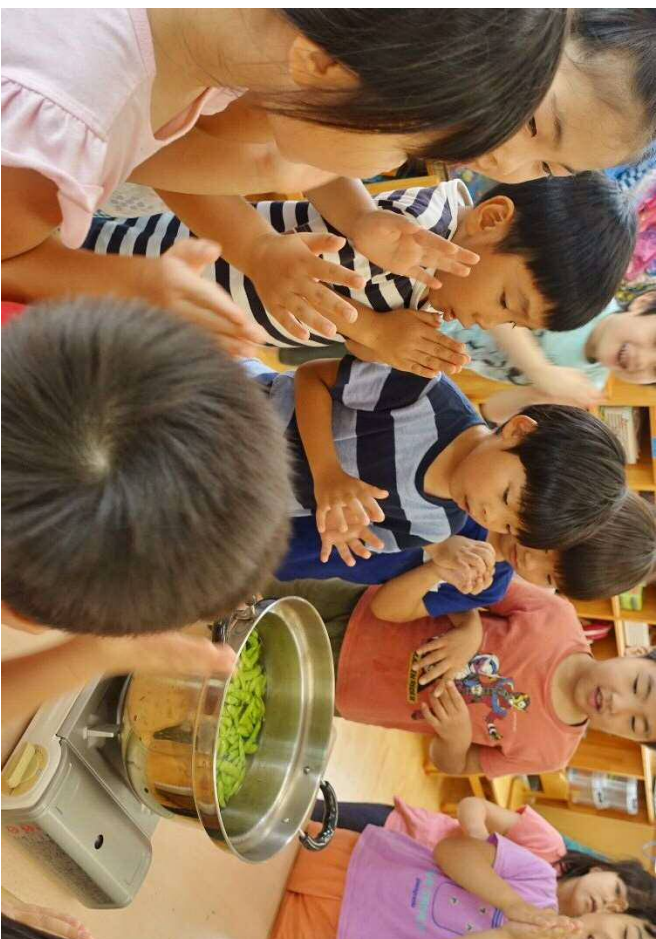
事例 9	タイトル	とうもろこしの皮むき	
目指す姿 (大きな目標)	旬の野菜に触れ、夏を感じる。		
当日のねらい (小さな目標)	とうもろこしはどのような状態で収穫され、皮をむくとどうなるかを知る。		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・ 2歳児 ・ 3歳児 ・ 4歳児 ・ 5歳児 保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ 保育士 ・ 栄養士 ・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和2年7月3日(金) 9時30分～	
	場所	保育室	
	資料・教材	とうもろこし・ブルーシート・たらい・ゴミ袋・とうもろこしの写真	
	実施内容	とうもろこしの話、クイズ、むき方の説明、実施、おやつ時に喫食	
結果・参加者の反応や様子	<p>とうもろこしがどのように収穫されるのか、話をよく聞いていた。</p> <p>とうもろこしのクイズを出すと、楽しそうに参加していた。</p> <p>むき方の説明を聞いた後、実際にむいて黄色い粒が見えた時、とても嬉しそうだった。</p> <p>2歳児クラスには、初めて生のとうもろこしを見た子もいて、重さに驚いていた。</p> <p>生のとうもろこしに触れることで、実際の大きさや重さ、色やにおいなど多くのことを感じ取っていた。</p>		
評価・今後の課題	<p>年少児には、かたくむきにくい部分もあったが、早く終わった年長児が手伝う姿が見られた。</p> <p>説明通りに皮を丁寧にもき、ひげ根も全てなくなるまできれいにとっていた。おやつにゆでとうもろこしを出すと、喜んでたくさん食べていた。</p>	備考	

施設名	けやきの森保育園	電話	048-661-6525
住所	さいたま市北区日進町2丁目1519番1		

事例 10	タイトル	バター作り	
目指す姿 (大きな目標)	みんなで協力して作る楽しさを知る。		
当日のねらい (小さな目標)	食材が変化していく様子を知り、食への興味を持たせる。		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・(3歳児)・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・(保育士)・栄養士・(調理師)・調理員・その他()	
	日時	令和2年10月9日	
	場所	3歳児保育室	
	資料・教材	・生クリーム ・塩 ・クラッカー ・空のペットボトル500ml(やわらかい素材のもの)	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・バターの原料、その他の乳製品の話。 ・グループごとに音楽に合わせてペットボトルを振り、バター作りをする。 ・できたバターをクラッカーにのせて試食する。 ・午後のおやつであんバターサンドにして試食する。 		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・乳製品の加工品を見せると「アイスクリームだ!」「チーズ!」と声を出して答えていた。 ・ペットボトルに触れると「冷たいね!」と楽しそうに状態を確かめていた。 ・両手を使って一生懸命振り、音楽が止まると交代する約束を守っていた。 ・試食では「甘い」「おいしい」と高評価で「もっと食べたい」という声が多かった。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・協力して取り組む姿が見られ、普段食べている食材に興味を持たせる事が出来てよかった。 ・事前にペットボトルに生クリームと塩を入れておいたので待たせることなく進められた。 	備考	

施設名	くすのき保育園	電話	048-796-4901
住所	さいたま市北区日進町 3-543-3		

事例 11	タイトル	枝豆おいしいな	
目指す姿 (大きな目標)	野菜作りを通し知識を育て、食への関心を高める		
当日のねらい (小さな目標)	自分たちで育てた野菜を調理しておいしく食べる		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・ <u>5歳児</u> ・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ <u>保育士</u> ・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和 2 年 7 月 30 日(木) 9:15 ~ 10:00	
	場所	5歳児保育室	
	資料・教材	枝豆2株	
	実施内容	自分たちで育てた枝豆を収穫し、さやを取って茹でて食べてみる。	
結果・参加者の反応や様子	<p>毎日水やりをして枝豆の実る様子を観察していた子どもたち。「ぷくっと膨らんできたよ」「もう食べられるかも」などの声上がり、80日目になったので収穫し茹でて食べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫 → 2株のみだったので全員で参加していた訳ではないが、力を入れずにスルッと抜けてしまったことに驚いていた。 ・さや取り → 枝からさやを取る際に触れた時「毛が生えている」と気が付く。皆で数をかぞえ、146さや取れたことを喜ぶ。 ・茹でる → 枝豆を茹でた鍋の湯気のおおいをかいで「お豆のおいがする」「良いにおい」と感じる子もいた。 ・食べる → 「甘い」と感じ、夢中で食べる。1さやに豆が4粒入っていたものを見つけて喜ぶ子もいた。家庭で食べていて慣れた様子であった。 		
評価・今後の課題	種まきを人数分行ったが発育が悪く、3株しか育たなかった。しかし、その中で自分たちが育てた枝豆を実際に茹でて食べてみることで、五感で様々な刺激を受け、食べ物を育てることの大変さを知る経験にもなった。今後、収穫した食材を加工して食品になっていることを知るために、大豆をきな粉にすることなどを行ってみたい。	備考	



施設名	遊美保育園	電話	048-654-8714
住所	さいたま市北区本郷町 106		

事例 12	タイトル	さつまいもを調理しよう！！～さつまいもクッキー～	
目指す姿 (大きな目標)	自分で収穫した野菜を調理することで食への興味・関心を持つ		
当日のねらい (小さな目標)	旬の野菜を調理し、調理の楽しさや食べる喜びを感じる		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和2年11月11日(水)	
	場所	保育室	
	資料・教材	食材(さつまいも)・調理器具・調味料	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・4歳児が畑でのさつまいもの生長を5歳児に伝え期待感を持つ ・5歳児がさつまいもを収穫する ・3・4・5歳児が型抜きをしたり、好きな形に丸めるなど形を作り、ホットプレートの上に保育者と一緒に並べ出来上がりに期待を膨らませながら調理をする。 ・自分で作ったクッキーを食べて楽しむ。 ・コロナ感染予防の為、手の消毒を行い、グループごとに調理を行う。 		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・クッキーの生地に入っているさつまいもの粒を見つけて「見て！さつまいもだ！」と話したり、生地を好きな形にして友達と見せ合ったりクッキーを好きな動物の型に抜くなどの調理を楽しんでいた。 ・ホットプレートの前で自分のクッキーが焼かれて変化していく様子をじっと眺めたり、何度も様子を見に来て「もう焼けたかな？」と期待したり、クッキーの焼けるにおいを嗅いで「いい匂い！早くたべたいな」「私も早く作りたい」と話したりする様子があった。 ・クッキーを食べに来た1・2歳児に「もっと食べたいの？私のクッキーもあげる！」と声をかけて年下の児にやさしく接する姿があった。 		
評価・今後の課題	自分で調理したものを食べることにより、さつまいもが苦手な児でも食べられるようになった。年下の児に自分の作ったクッキーを食べてもらうことで、人に喜んでもらうと自分も嬉しくなる気持ちを味わうことができた。コロナ禍の為、三密を防止衛生的に食育を行う為に、グループごとで調理し手消毒をした。今後も食育の機会を子ども達に作る為に、工夫して食育を行っていきたい。	備考	





【コラム】 第3次さいたま市食育推進計画 ①

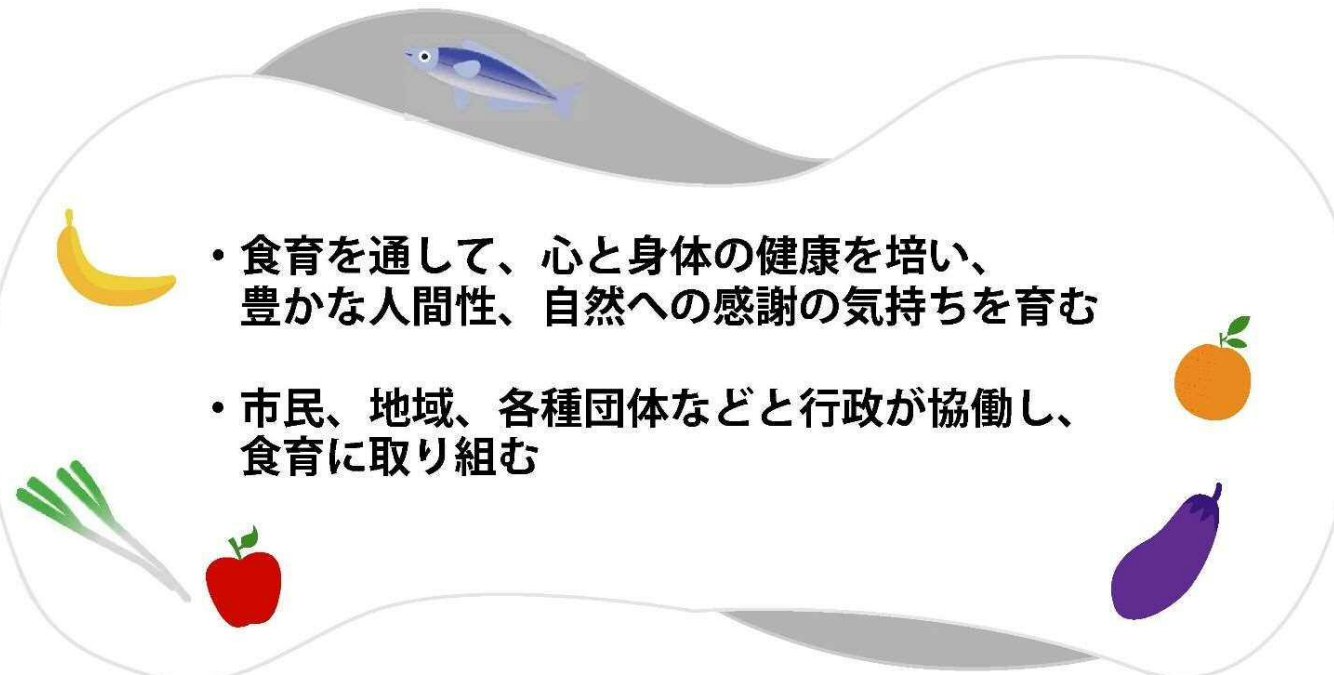
さいたま市では、食育基本法に基づき、平成20年に「さいたま市食育推進計画」、平成25年に「第2次さいたま市食育推進計画」を策定し、食育の推進に取り組んできました。

これまでの取組の成果と、現状や課題を踏まえ、食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進していくため、平成30年3月に「第3次さいたま市食育推進計画」を策定しました。


【計画期間】

平成30（2018）年度～令和4（2022）年度

【食育の基本理念】

- 
- ・食育を通して、心と身体の健康を培い、豊かな人間性、自然への感謝の気持ちを育む
 - ・市民、地域、各種団体などと行政が協働し、食育に取り組む

施設名	えがお保育園	電話	048-782-5500
住所	さいたま市北区宮原町4丁目 83-5		

事例 13	タイトル	「三食ボード・メニューボードの取り組み」「夏野菜を育てる」	
目指す姿 (大きな目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・食事することの意味が分かり、楽しんで食事する。 ・食への興味・関心から色々なことに気づき、思いやりや感謝の気持ちを持つ。 		
当日のねらい (小さな目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・献立や食材に興味や関心を持つ ・自分達で野菜を育て、食べ、収穫の喜びを味わいながら旬があることを知る。 		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・ 3歳児 ・ 4歳児 ・ 5歳児 保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ 保育士 ・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和2年4月～	
	場所	<ul style="list-style-type: none"> ・保育室 ・園庭(プランター栽培) 	
	資料・教材	<ul style="list-style-type: none"> ・三色ボード ・メニューボード 	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが毎日の献立をメニューボードに書く。(3・4・5歳児) ・三食ボードの作成、確認(0～2歳児…保育者が作成し、食前に皆で確認し合う) (3～5歳児…子どもと一緒に作成し、食前に皆で確認し合う) ・夏野菜を育て、収穫し食べる(4～5歳児) 		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・三食ボードでは、それぞれの食材の役割を確認し、様々な食材があることに気づき、興味関心を持って、その日の献立の中に入っている食材を確認したり楽しみにしながら食べる姿が見られた。 ・メニューボードの作成では、文字に興味を持ち始めた子が自主的に書き、その日の献立を仲間と一緒に書くことで、食事の時間を楽しみにしながら、日中の活動を意欲的に取り組む姿があった。 ・夏野菜を育て、収穫し食べることで、普段は苦手な食材でも、自分で育てたことによって、「食べてみようかな?」「食べてみたらおいしかった」と収穫した喜びをかみしめながら食べる様子が見られた。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・三食ボードは0歳児クラスからの取り組みで積み重ねてきていることもあり、3歳以上児ともなると自ら食材カードを見て、どの栄養素(赤・緑・黄色)の食べ物か分かり、ボードを仕上げられるようになる子もいた。 ・夏野菜だけでなく、春夏秋冬季節の野菜を育て、一年を通して、旬の野菜(食材)に親しめるようにしていけたらと思う。 	備考	<p>三色ボード メニューボード</p> 

施設名	にじの星保育園	電話	048-871-6687
住所	さいたま市北区宮原町 3-209-2		

事例 14	タイトル	お月見団子作り	
目指す姿 (大きな目標)	・お月見の由来を知り、友だちと一緒に団子を作ることを楽しむ。		
当日のねらい (小さな目標)	・団子を丸めて作るときの感触を楽しみ、粉から団子になるまでの過程に興味を持つ。		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児 (5歳児) 保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭 (保育士) (栄養士) 調理師・調理員・その他()	
	日時	令和2年10月1日(木)	
	場所	2階ランチルーム	
	資料・教材	特になし	
	実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ボウルに上新粉を入れる。 2. 粉と水を混ぜる。 3. 出来上がった生地をこねて丸める。 4. お湯でゆでる。 5. 飾りつけをする。 	
結果・参加者の反応や様子	<p>お月見の由来などを食育活動の導入として話したことで、気になることを保育者に質問したり、栄養士の話の聞いたり、さらに興味が沸き意欲的に取り組んでいた。</p> <p>団子作りでは粉、粉に水を入れた生地、茹で上がった団子など様々な素材の感触を楽しみ、「粉はさらさらしてる。」「水を入れてこねると柔らかい。」「茹でるとツルツルになった。」「時間がたつと手にくっつくようになった。」などそれぞれの感触の感想を話していて、発見の多い食育活動になった。</p> <p>園の玄関に自分たちの作った月見団子が飾られたことで、保護者に実物を見せながら話をする子どもが多かった。</p>		
評価・今後の課題	<p>団子を丸める際、上手く丸められず苦戦していた子どもが数名いたが、コツを伝えたことでその後はスムーズに丸めることが出来た。</p> <p>粉の状態から飾りつけまですべての工程を行えたことで、とても良い経験になった。</p>	備考	特になし



施設名	社会福祉法人 誠高会 大宮日進さくらんぼ保育園	電話	048-788-2820
住所	さいたま市北区日進町 2-1914-7		

事例 15	タイトル	郷土料理給食	
目指す姿 (大きな目標)	様々な土地の料理の特徴を知る		
当日のねらい (小さな目標)	目新しい料理を食べる経験をする		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児 ・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ 保育士・栄養士・調理師・調理員 ・その他()	
	日時	令和2年(年間を通して、毎月19日の食育の日に提供する。)	
	場所	各クラス	
	資料・教材	日本地図の掲示 給食だよりへの掲載	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月19日の献立に郷土料理や特産品、ご当地グルメなどを入れ込む。 ・提供する日は、栄養士や担任から、その土地の特徴やメニューの説明をする。(主に幼児)その土地の人々の工夫や、なぜその食材が使われているのかを伝え、ひと口でも食べてみるように促す。 ・給食を食べた後は、日本地図に色を塗る(主に5歳児) 		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちは地図を見ながら、毎月楽しみに給食を待つ姿が見られるようになった。 ・食べ慣れない味や、独特な組み合わせの料理もあるが、その県の話伝えることで頑張る姿が見られた。 ・給食だよりに掲載することで、保護者や職員も知識が付き、食に興味を持つきっかけや、話の話題になった。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今年はコロナウイルスの影響で、衛生面の配慮からなかなかクッキングを実施することができなかったが、毎月郷土料理を提供することで子どもの食体験を違う角度から促す事が出来たので良かった。今後も日本一周できるまで続けていきたい。 ・郷土料理は生ものや、仕入れられない食材が使われていることも多いので、できる範囲で再現をしていく。 	備考	